

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
単元株式数 100株
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当 毎年3月31日
 中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
（郵便物送付先） 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） ☎0120-176-417

＜平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。＞
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-782-031

（インターネットホームページURL） <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公 告 方 法 電子公告により、当社のホームページに掲載します。
URL <http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html>
ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



URL: <http://www.mars-eng.co.jp>

[マースジャーナル]

第39期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

Vol.13

MARS Journal

付加価値の向上で差別化を

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間期におけるパチンコ業界は、昨年からパチスロ機の人気が好調に推移しており、パチスロ機を中心とした設備投資が積極的に行われました。

このような状況の中で、当社グループはホール業務の省力化を図り、ホール経営をサポートする「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。))」を中心にトータルシステムでの提案・販売に注力してまいりました。

昨今、競合環境は厳しくなっているものの、タイムリーな新製品の開発や、当社ユーザー様に安心してお使いいただけるようなサポート体制の充実を図ることで付加価値を高め、競合他社との価格競争から一定の距離を置いた販売活動を行ってまいりました。パーソナルは業界内で広く認知され、導入店舗は1,000店舗を超え、順調に市場シェアを拡大してきました。今後も精力的に販売活動を進め、パーソナルの業界標準化を目指して市場シェアの拡大を図ってまいります。

自動認識システム関連事業においては、RFIDの㈱マーステクノサイエンスとバーコードの㈱東研が2月1日付で合併し、㈱マーストークンソリューションとして今期がスタートしました。

当中間期は、共同開発や販売チャネルの相互利用、販管費の抑制等、合併によるシナジー効果が表れ、売上高、収益ともに増加となりました。今後、更に高いシナジー効果を生み出しつつ、新規分野の開拓、実績を上げてまいります。

ホテル関連事業においては、創業3年目を迎えるマースガーデンウッド御殿場の稼働率は年々上昇し、認知度も高まってきました。新規宿泊客の獲得やリピート客の増加を図るために、新規プランやイベントの企画を行い、早期営業黒字化を目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 松波 明宏

当中間期の業績

当中間期(第2四半期連結累計期間)の業績は、売上高155億3百万円(前年同期比14.2%増)、営業利益35億35百万円(同19.6%増)、経常利益36億74百万円(同27.5%増)、中間純利益20億54百万円(同30.5%増)となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

アミューズメント関連事業

パチンコ業界において、当社独自の「パーソナルPCシステム(以下、「パーソナル」という。))」は、少数で効率的なホール運営ができるシステムとして業界内で認知されています。各台計数システムの市場が広がりを見せる中、当社はトータルシステムでの提案販売を行い、特にパチスロ向けメダルサンドの販売が好調に推移しました。当中間期におけるパーソナルの売上実績は107店舗、当中間期末時点における累計導入店は1,064店舗(市場シェア11.1%)となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は114店舗、導入(実稼働)店舗数は累計2,096店舗(市場シェア21.8%)となりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、119億30百万円(前年同期比1.8%増)、セグメント利益28億41百万円(前年同期比7.6%増)となりました。

自動認識システム関連事業

当事業は、アミューズメント関連事業に続く事業の柱として、当社子会社の株式会社マーストークンソリューションが主体となり、販売活動の他、新市場の模索とノウハウの蓄積のため、あらゆる分野のビジネス展示会に積極的に出展してまいりました。

アミューズメント関連事業で培ってきたノウハウや技術で実績のあるRFID分野では、主に健診・人間ドック向けデータ収集システム「健診ステーション」、ICカードタイムレコーダー「クロノステーション」、製造業、物流業

向け作業実績管理システム「WM(ワークマネジメント)ステーション」を中心に販売してまいりました。

バーコード分野では、電子機器及び部品業界、物流業界等のFA市場で、信頼と技術力が高く評価されている自社製品を広く販売を進めてまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、30億99百万円(前年同期比109.6%増)、セグメント利益4億5百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

ホテル関連事業

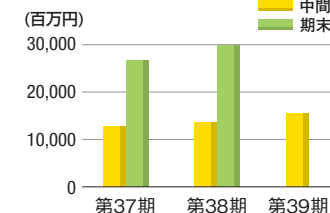
観光業を取り巻く環境は、国内需要が低い水準で推移していることに加え、訪日外国人の旅行者数が隣国との領土問題の影響などで伸び悩んでおり、非常に厳しい状況となりました。

こうした環境の中で、福岡市博多区のホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと質の高いサービスが評価され、リピート客が多く、震災後に一時的な落ち込みはあったものの、稼働率は震災前の水準に回復いたしました。

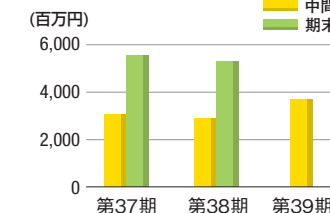
静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、顧客重視のプランの開発に努め、インターネット媒体や旅行代理店等を通じた販売チャネルの拡大で、稼働率アップを図ってまいりました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は、4億72百万円(前年同期比22.9%増)、セグメント損失1億64百万円(前年同期は2億96百万円のセグメント損失)となりました。

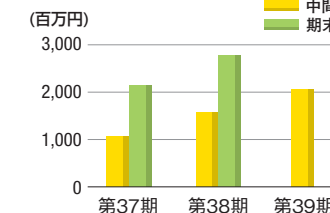
売上高



経常利益



中間(当期)純利益



好調のパチスロ機向け

マースのメダルサンド、充実のラインナップ!



現在アミューズメント業界ではパチスロ人気急上昇しており、ホールの設備投資意欲もかつてない高まりを見せています。この急伸するニーズに応えるため、マースでは3機種種のメダルサンド(各台メダル貸機)を市場投入し充実のラインナップを構築しています。

大きな特徴の1つは、1,000円札しか使えないことが多い従来機と異なり、4種類の紙幣すべてに対応して遊技客の利便性を大幅に高めています。このほか、会員カードとの

連動やサンド内にストックされたカードによる残金精算など、遊技客が安心して楽しむための機能や、ホール運営を効率化する機能が満載です。

最新機種SL-770(T)は、FB-85(4金種対応紙幣識別機)との接続で、マース独自の「Air紙幣搬送システム」と連動し、現金管理の安全性強化とホール経営の一層の効率化を実現しています。

メダルサンドの **特徴—①**

4種類の紙幣すべての入金が可能です。

従来は1,000円札しか入らないものが主流でしたが、マースのメダルサンドでは座ったままで4種類の紙幣すべての入金や追加入金も可能です。残金は現金精算ができます。



メダルサンドの **特徴—②**

全台カード化で、パチンコもパチスロも1枚のカードで楽しめます。

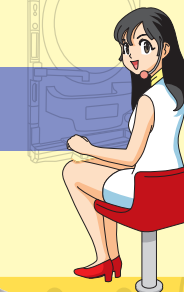
残金がある場合、メダルサンドのカードリーダー内にストックしてあるカードを使って、他のパチスロ機のほか、パチンコも楽しめる仕組みになっています。



メダルサンドの **特徴—③**

ホールの効率的な運営と営業戦略を実現します。

遊技客の皆様が会員カードで遊技していただくことで、パチンコとパチスロの両方の会員の動向をつかみやすくし、ホールの新たな営業戦略につなげることが可能となっています。



メダルサンドの **特徴—④**

「Air紙幣搬送システム」で、安全に現金を管理します。

FB-85と接続することで、マースが独自に開発した世界初の技術「Air紙幣搬送システム」と組み合わせて、安全な現金の一括管理ができます。



パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。

京都府京田辺市

ARROW京田辺店様

京都の中心部から南に約20kmに位置する京田辺市。ここに、奈良、大阪を中心にチェーン展開しているアローグループ様のARROW京田辺店様が、パチンコ全台にパーソナルPCシステムを導入し、グランドオープンしました。

同グループ初の京都出店となった同店は、「快適」をコンセプトに店舗づくりが行われました。1枚のカードでパチンコとスロットコーナーを容易に行き来ができ、システムの機能面やセキュリティ、運動性を検討された上で、マースのトータルシステムをご採用いただきました。



ARROW京田辺店様のコメント

当グループでは、京都に初出店を果たし、フラッグシップ店として位置付ける当店は、「長く遊べる低貸し営業」「快適な遊技空間の提供」「きめ細かい接客サービス」をコンセプトにスタートしました。

パーソナルPCシステムの導入で、玉の上げ下ろし作業がなくなったので、女性スタッフ中心に店舗運営を行い、明るさ、清潔さ、快活さに溢れた雰囲気漂うホールとなっています。

面倒な手続きをせず、素早く移動・交換・出玉共有が自分の好きなタイミングでできる自由さとコミュニケーションを重視した丁寧な接客は、老若男女から広く支持を集めています。

愛知県安城市

ファンダース高棚店様

主に自動車産業で栄える安城市に店を構えるファンダース高棚店様。同店を運営するフシミコーポレーション(株)様は、「地域の人たちと共に、私たちはある」という考えを大切にしながら、地域に密着した営業を展開しています。

同社の創業60周年記念事業として、同店では、環境対策が盛り込まれ、全館の照明をLED化し、最先端のセラミック製塗料の採用で断熱効果の向上を図るなど、全国のホールに先駆けたエコホールとして、リフレッシュオープンしました。

環境に配慮した快適な空間に、パーソナルPCシステムの導入で実現できた最高のお客様サービスで、地域と共に発展を続けています。



ファンダース高棚店様のコメント

当店は、創業60周年記念事業の一環で、リフレッシュオープンし、全国のホールのエコモデル店舗として生まれ変わりました。電力やエネルギーの在り方について、日本全国で見直しがされている中で、当店は40%の節電という高い目標を掲げて、営業活動を行っています。

今回、パーソナルPCシステムを導入したことで、どの従業員もコンシェルジュになることができ、いつでもお客様に最高のおもてなしができるようになりました。

「みんなの力になりたい」「地域の人たちと共に、私たちはある」を掲げ、地域の皆様への感謝を忘れず、共に歩んでいきたいと思っております。

TOPICS

富士山一斉清掃活動に参加しました。

NPO「富士山をいつまでも美しくする会」が毎年主催している富士山一斉清掃活動へ、御殿場市に拠点を置く当社の事業所の社員16名が、本年8月11日に参加いたしました。

御殿場市に拠点のある事業所では、従来より社会貢献活動の一環として、定期的に周辺地域のゴミ拾い活動を行っておりますが、今年は富士山の世界文化遺産登録を目指していることから、初めてこの一斉清掃に参加し、今回は主に御殿場登山口周辺のゴミ拾い活動を行いました。

ただ、毎年多くの方が清掃活動をされていることもあり、道路には殆どゴミが無い状況でしたが、通常では目の届かないところに投棄されたゴミの回収もでき、有意義な時間を過ごすことができました。



TOPICS

MTS、「RFIDソリューションEXPO」に出展しました。

本年2月1日に合併し、新たに誕生した(株)マーストークンソリューション(以下「MTS」)は、5月9日～11日に東京ビッグサイトで開催された「第7回 RFIDソリューションEXPO」に自動認識総合メーカーとして合併後初の展示会出展を果たしました。

今回は、ICカードソリューションとして、作業実績管理システム「WMSステーション」、健診・人間ドック向けデータ収集システム「健診ステーション」、新製品ロイコリライトプリンタ「IPS-201」や、二次元コードリーダー搭載UHFハンディターミナル「IU-9061」など、顧客が求める各種ソリューションに対応した業界随一の充実した製品をラインナップいたしました。

今回の出展は、今後の販売に向けて手応えを感じる展示会となりました。



Consolidated Financial Statements [中間連結財務諸表]

中間連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間末 平成24年 9月30日現在	前中間連結 会計期間末 平成23年 9月30日現在	前連結 会計年度末 平成24年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	35,109,993	38,090,957	38,009,971
固定資産	22,318,033	21,599,566	20,021,043
有形固定資産	14,723,420	15,114,535	14,891,893
無形固定資産	301,168	393,709	345,601
投資その他の資産	7,293,444	6,091,321	4,783,548
資産合計	57,428,026	59,690,523	58,031,015
負債の部			
流動負債	9,514,455	12,641,402	10,901,557
固定負債	4,795,725	5,629,074	5,083,303
負債合計	14,310,180	18,270,476	15,984,860
純資産の部			
株主資本	43,536,128	41,686,690	42,416,299
その他の包括利益累計額	△418,282	△266,643	△370,144
純資産合計	43,117,846	41,420,046	42,046,155
負債純資産合計	57,428,026	59,690,523	58,031,015

中間連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	15,503,503	13,578,979	29,808,241
売上原価	7,675,622	6,697,094	15,429,298
売上総利益	7,827,880	6,881,885	14,378,943
販売費及び一般管理費	4,292,568	3,925,471	9,145,105
営業利益	3,535,312	2,956,413	5,233,837
営業外収益	139,372	109,322	287,221
営業外費用	—	183,494	230,799
経常利益	3,674,684	2,882,241	5,290,259
特別利益	21,000	272,130	340,185
特別損失	305,082	274,317	849,254
税金等調整前中間(当期)純利益	3,390,602	2,880,054	4,781,191
法人税、住民税及び事業税	1,198,941	1,441,183	2,297,268
法人税等調整額	137,543	△135,547	△296,385
少数株主損益調整前 中間(当期)純利益	2,054,116	1,574,418	2,780,308
中間(当期)純利益	2,054,116	1,574,418	2,780,308

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間連結 会計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間連結 会計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前連結 会計年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,167,556	3,369,716	5,324,137
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,006,249	51,514	512,887
財務活動によるキャッシュ・フロー	△571,144	△552,761	△2,629,083
現金及び現金同等物に 係る換算差額	6,410	△4,634	1,392
現金及び現金同等物の 増減額(減少:△)	△1,403,427	2,863,835	3,209,334
現金及び現金同等物の 期首残高	15,957,187	12,747,852	12,747,852
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	14,553,759	15,611,688	15,957,187

Non-consolidated Financial Statements [中間単体財務諸表]

中間単体貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期末 平成24年 9月30日現在	前中間期末 平成23年 9月30日現在	前事業年度末 平成24年 3月31日現在
資産の部			
流動資産	18,381,212	18,490,723	19,440,061
固定資産	17,987,204	14,701,597	14,984,524
有形固定資産	3,582,335	3,683,456	3,650,037
無形固定資産	103,141	117,233	108,356
投資その他の資産	14,301,727	10,900,906	11,226,130
資産合計	36,368,417	33,192,320	34,424,585
負債の部			
流動負債	3,845,981	3,454,267	3,769,117
固定負債	703,952	629,608	673,247
負債合計	4,549,934	4,083,875	4,442,365
純資産の部			
株主資本	32,205,702	29,338,460	30,330,183
評価・換算差額等	△387,219	△230,015	△347,962
純資産合計	31,818,482	29,108,444	29,982,220
負債純資産合計	36,368,417	33,192,320	34,424,585

中間単体損益計算書(要旨)

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)	前中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前事業年度 (平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで)
売上高	10,800,663	10,482,845	21,166,045
売上原価	5,585,626	5,659,956	11,484,601
売上総利益	5,215,036	4,822,888	9,681,444
販売費及び一般管理費	3,122,925	3,206,646	6,446,971
営業利益	2,092,111	1,616,242	3,234,472
営業外収益	1,343,005	1,545,498	1,613,055
営業外費用	4	4,634	426
経常利益	3,435,112	3,157,106	4,847,101
特別利益	21,000	169	154,129
特別損失	291,385	262,317	—
税引前中間(当期)純利益	3,164,726	2,894,958	5,001,231
法人税、住民税及び事業税	729,340	783,236	1,322,578
法人税等調整額	△11,729	△162,003	△63,075
中間(当期)純利益	2,447,114	2,273,725	3,741,727

株式の状況

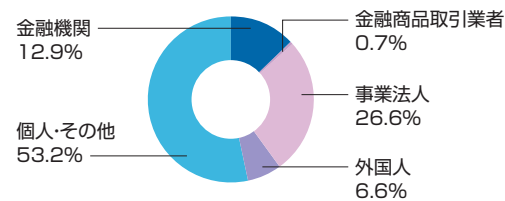
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	8,290名

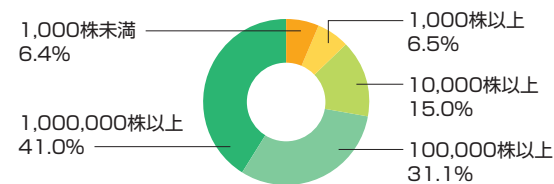
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	5,643	29.63
日本トラスティサービス信託銀行(株)(信託口)	716	3.76
松波廣和	680	3.57
松波香代子	680	3.57
松波明宏	680	3.57
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	663	3.48
古宮重雄	490	2.57
五味輝雄	450	2.36
永井美香	432	2.27
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	418	2.20

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

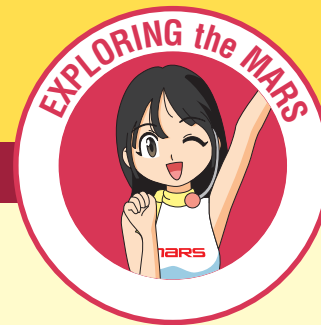
商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	463名(男421名、女42名)

役員

代表取締役会長	古宮重雄
代表取締役社長	松波明宏
取締役相談役	松波廣和
取締役	村上浩
取締役	秋山裕和
取締役	佐藤敏昭
常勤監査役	渡邊廣美
社外監査役	小林郁夫
社外監査役	中村勝典

執行役員

常務執行役員営業本部長	秋山裕和
常務執行役員管理本部長	佐藤敏昭
常務執行役員技術開発部長	井出平三郎
執行役員品質保証部長	名取満郎
執行役員営業本部副本部長	秋山学
執行役員総務部長	高橋丈治



マース探検にGo!

Stage — 1 本社ショールームを紹介。

今回から始まった新特集「マース探検にGo!」では、マースグループの製品やサービスが使われているシーン、活躍している現場などを紹介していきます。
今回は、マースエンジニアリングの本社にあるショールームを紹介します。



マースエンジニアリングの本社にショールームがあります。



1F

1階は受付とショールーム、打合せスペースを兼ねています。数多くの商談もここでよく行われます。実際に商品を見ながら話ができるので、お客様に好評なんです。



もちろん、最新商品・サービスもばっちり完備。



ホール店様での一元管理を更に効率化する総合管理システム。



業界でも定評のあるマースの景品管理システム。

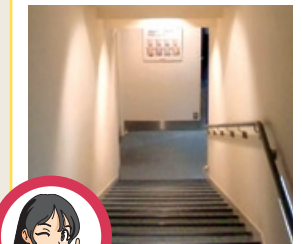
医療業界で注目の「健診ステーション」も設置してありますよ。



自動認識分野でも活躍するマースグループのRFIDやバーコードを中心とした製品もばっちり。



Next Stage



実は、このショールーム、地下にもあるんです。その様子は次回探検しちゃいます。お楽しみに!!

